

【所沢市】 1人1台端末の利活用に係る計画

目指す学びの姿

ICT環境により、児童生徒が、いつでも、どこからでも、誰とでも、自分らしく学べる姿の実現を目指します。

■GIGA 第1期の総括

(1) GIGAスクール構想の実現に向けた主な取組(令和3年1月~)

ICT環境整備	端末等整備	支援体制整備
<ul style="list-style-type: none">・校内LAN・学びの保証事業・液晶ディスプレイ等・学習系ネットワーク回線	<ul style="list-style-type: none">・学習者用コンピュータ・指導者用デジタル教科書導入	<ul style="list-style-type: none">・GIGAスクールサポーター (～令和4年3月)・ICT支援員 (～令和6年3月)

(2) 総括および結果

順調にICT機器の環境整備を完了しました。また、授業におけるICT機器の活用については、年に2回の活用状況調査を実施し、各校に応じた支援を行っています。授業におけるデジタル教育コンテンツの利用も日常的になりつつあります。また、教職員のICT活用指導力向上のため、各校にICT教育推進リーダーを置き、校内での学びあい・活用促進を推進することができました。

今後は、故障端末に係る対応の効率化や、児童生徒用のデジタル教科書の導入やクラウドサービスの導入を考慮して、現在のネットワーク環境の段階的な更改に取り組みます。

(3) 課題解決に向けた解決策

①学習者用コンピュータに係る修理対応

十分な予備機の整備、各学校への運用に関する継続的・定期的な指導・支援、運用管理業務の導入を計画的に行っていきます。

②ネットワーク回線の高速化への対応

既存の教育ネットワーク回線と学習系ネットワーク回線を教育ネットワーク回線へ統合し、教育ネットワーク回線の帯域を拡張します。

■ 1人1台端末の利活用方策

(1) 1人1台端末の積極的活用に向けて

教員が情報活用能力への理解を深め、ICT 活用指導力を向上できるように、ICT に関する研修を充実させます。また、各学校に ICT の活用方法を浸透させるため、その中核的な役割を果たす ICT 教育推進リーダーを育成し、1人1台端末の日常的な活用に向けた取組を更に推進します。

(2) 個別最適・協働的な学びの充実に向けて

児童生徒が調べる場面での活用については、児童生徒が興味・関心のあることについて、情報を精査しながら調べ、活用できるようにしていきます。あわせて、情報化社会を生きるために必要な情報モラル教育を充実させます。

まとめ、表現する場面では、各教科で学んだ表現方法を積極的に活用させ、児童生徒が思いや考えを表現するために最適な方法を選択できるようにしていきます。また、学習管理アプリや授業支援システムを活用し、教員と児童生徒間、児童生徒間のやり取りを充実させます。

(3) 学びの保証に向けて

不登校児童生徒の学習参加については、一人一人の状況に合わせた学びを支援します。また、クラウド環境を利用した連絡体制や教材の共有を更に推進します。

教育データの活用については、支援が必要な児童生徒の早期発見・早期対応につなげるため、児童生徒のケアの必要性や学習理解度を把握するための有効な手順や方法について、今後研究を進めます。

多様な児童生徒への支援については、児童生徒の学習に最適なアプリケーションを取り入れ、学習意欲の向上を図る取り組みを推進します。